

# 区市町村向けアンケート調査結果

2022年8月4日

東京都 福祉保健局 高齢社会対策部 在宅支援課

# シニア・プレシニアと社会活動のマッチング等に関するアンケート調査の概要（2022年7月実施）

- 都内区市町村における高齢者の社会参加マッチング施策に関する現状や課題等について把握することを目的として、都内の全区市町村を対象に実施したアンケート調査を実施。調査の概要は以下のとおり。

## シニア・プレシニアと社会活動のマッチング等に関するアンケート調査

調査目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>都内区市町村における高齢者の社会参加マッチング施策に関する現状や課題等について把握すること</li> </ul>
調査対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>都内の62区市町村（区23、市26、町5、村8）</li> </ul>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>Excel形式の調査票を東京都福祉保健局より各区市町村の高齢者福祉主幹課長宛てに電子メールにて発送・回収</li> </ul>
割り付け条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>悉皆調査</li> </ul>
回収サンプル数/回収率	<ul style="list-style-type: none"> <li>55件（88.7%）</li> </ul>
調査日程	<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年7月12日～26日〆切 ※〆切後も回収を継続し、28日回収分までを対象に集計</li> </ul>
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>シニア・プレシニアと社会参加活動のマッチング事業の取組状況について</li> <li>社会参加を希望するシニア・プレシニアに対する総合的な相談支援窓口について             <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な相談支援窓口の有無</li> <li>総合的な相談支援窓口の担い手</li> <li>総合的な相談支援窓口におけるコーディネーターの体制</li> </ul> </li> <li>シニア・プレシニア向けの社会参加活動の掘り起こしについて             <ul style="list-style-type: none"> <li>社会参加活動情報の把握について</li> <li>連携している関係機関について</li> <li>社会参加活動の情報収集の方法</li> </ul> </li> <li>Webサイトを活用したマッチング事業について             <ul style="list-style-type: none"> <li>社会参加活動を掲載したWebサイトの有無</li> <li>Webサイトの機能</li> <li>Webサイトにおける社会参加活動の掲載方法</li> </ul> </li> <li>シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング事業全般について             <ul style="list-style-type: none"> <li>マッチング事業を行うにあたって必要な支援</li> <li>都のwebサイト（オンラインプラットフォーム）構築にあたってのご要望等</li> </ul> </li> </ul>

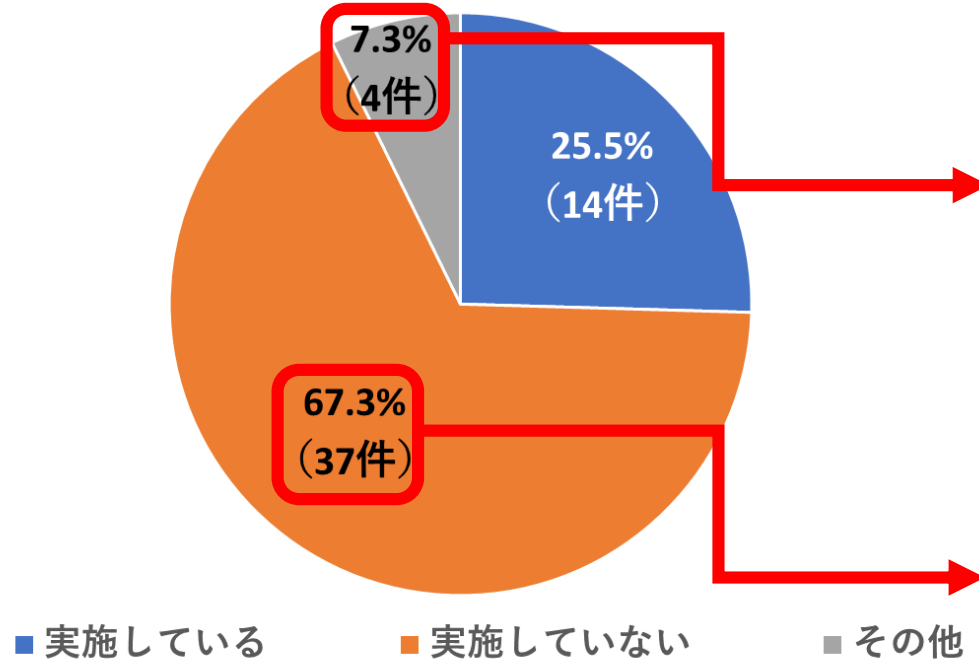
※当アンケートにおけるプレシニアとは概ね50歳～65歳の方を想定

# 1. シニア・プレシニアと社会参加活動のマッチング事業の取組状況について

- シニア・プレシニアと社会参加活動のマッチング事業を実施している割合は25.5%（14件）であった。

1. シニア・プレシニアと社会参加活動のマッチング事業の取組状況について  
貴区市町村における、シニア・プレシニアと社会参加活動のマッチング事業の取組状況を教えてください。

シニア・プレシニアと社会参加活動の  
マッチング事業の取組状況（n=55）



## 【「その他」の内容（自由記述回答から抜粋）】

- 「生活支援体制整備事業」において、生活支援コーディネーターによるニーズと取組のマッチングを行っている。また、区社会福祉協議会ボランティアセンターではボランティア活動についてコーディネートを行っている。\*
- 個別相談は実施していないが、事業の中で、様々な社会参加活動を提示等を行っている。
- 日常生活支援総合事業「住民主体の訪問型サービスB」を令和4年度開始した。
- 令和2年度に生活支援コーディネーター、ボランティア・市民活動センター、が中心となり、退職後の社会参加を希望する高齢者と活動団体とのマッチングイベントを検討していたが、コロナウイルス感染拡大のため中止。令和3年度は、活動団体に活動状況や意向調査を実施。令和4年度は検討中。

※生活支援コーディネーターやボランティアセンターにおけるマッチングについては「マッチング事業を実施していない」と回答した67.3%（37件）のうち一部の区市町村でも実施

## 2. 社会参加を希望するシニア・プレシニアに対する総合的な相談支援窓口について

### (1) 総合的な相談支援窓口の有無

- ・ マッチング事業を実施している区市町村のうち、「総合的な相談支援窓口がある」割合は64.3%（9件）であった。
- ・ 「窓口の必要性は感じているが、現状設置できていない」区市町村も14.3%（2件）存在。

#### 2. 社会参加を希望するシニア・プレシニアに対する総合的な相談支援窓口について

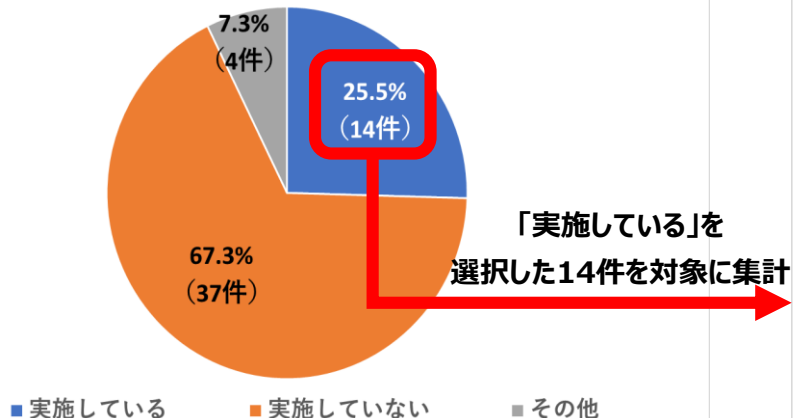
##### (1) 総合的な相談支援窓口の有無

貴区市町村における、総合的な相談支援窓口の設置状況を教えてください。

※ 1で「ア.シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング事業を実施している」を選択した区市町村の回答

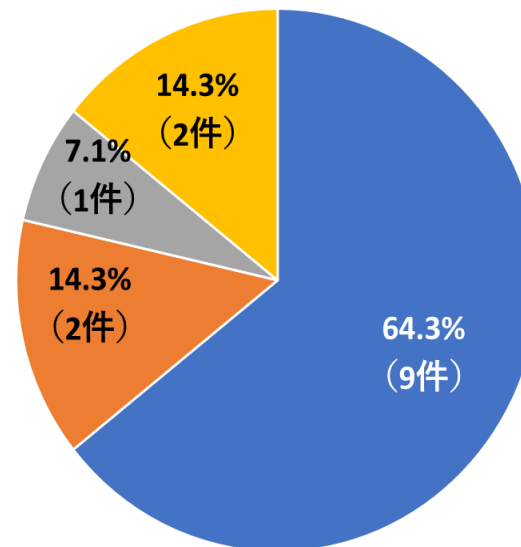
#### 【マッチング事業の取組状況（再掲）】

シニア・プレシニアと社会参加活動の  
マッチング事業の取組状況（n=55）



「実施している」を  
選択した14件を対象に集計

総合的な相談支援窓口の有無（n=14）



#### 【「その他」の内容（自由記述回答から抜粋）】

- 地域包括支援センターや市で相談を受けている中で高齢者の社会参加の相談があった場合には都度対応している。
- 総合的な相談窓口は設置していないが、生活支援コーディネーターが配置される地域包括支援センターを拠点とし、生活支援コーディネーターが担当圏域内の社会参加に関する地域資源の情報収集に努め、必要に応じて、シニアの社会参加のコーディネートやマッチングを行っている。

- 社会参加を希望するシニア・プレシニアを対象とした総合的な相談支援窓口がある
- 総合的な相談支援窓口の必要性は感じているが、現状設置できていない
- 総合的な相談支援窓口の必要性は感じていない
- その他

## 2. 社会参加を希望するシニア・プレシニアに対する総合的な相談支援窓口について

### (2) 総合的な相談支援窓口の担い手

- 総合的な相談支援窓口を設置している区市町村における「相談支援窓口の担い手」としては「全ての業務を包括的に法人に委託している」が77.8%（7件）で最も割合が大きく、次いで「全ての業務を直営で行っている」が22.2%（2件）であった。

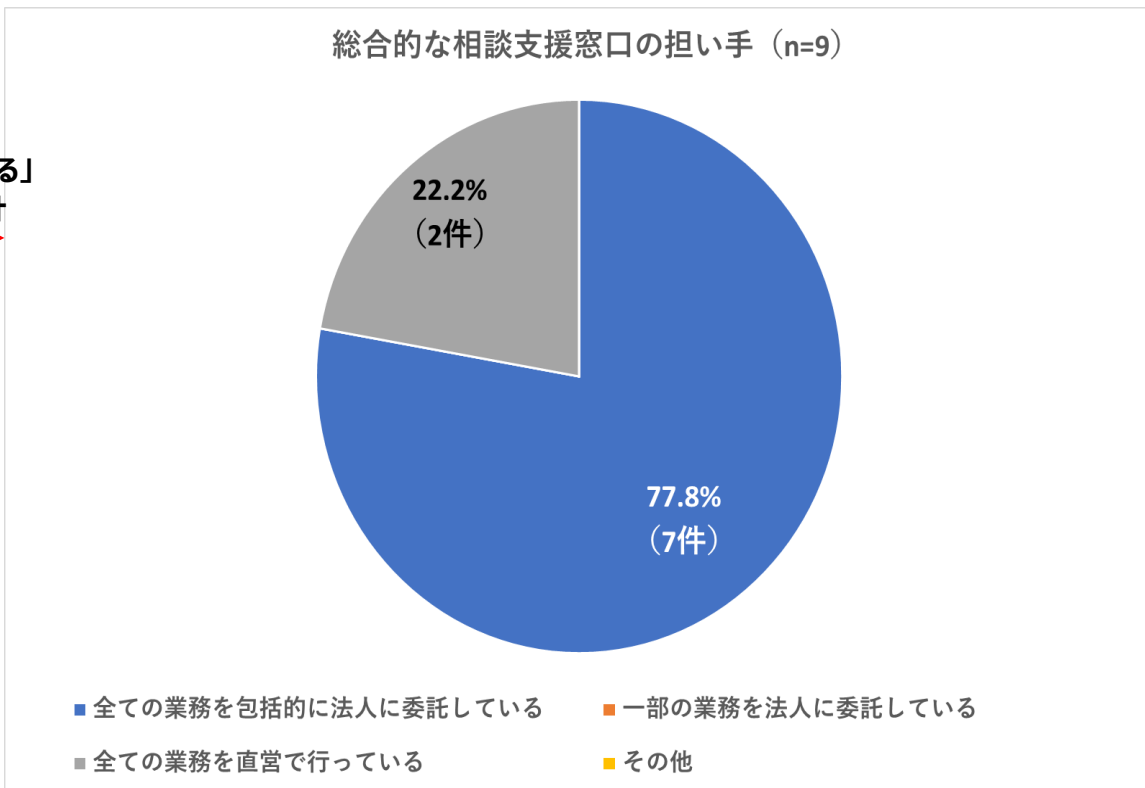
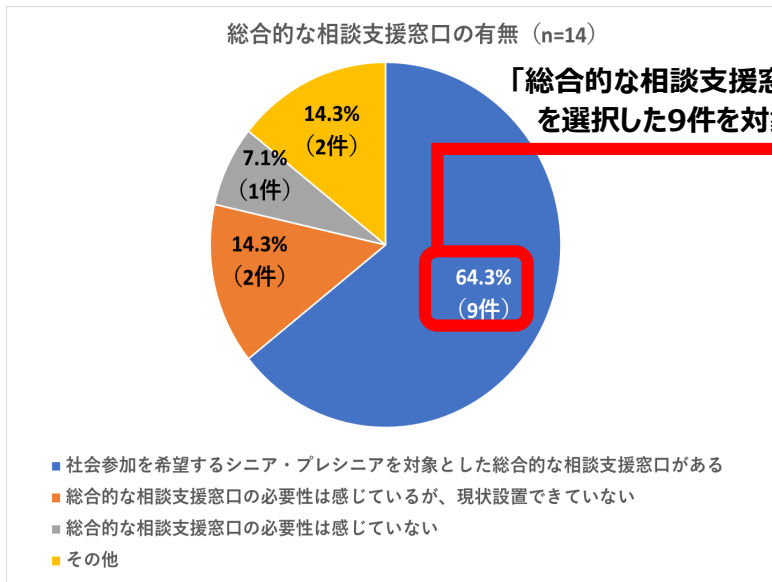
#### 2. 社会参加を希望するシニア・プレシニアに対する総合的な相談支援窓口について

##### (2) 総合的な相談支援窓口の担い手

総合的な相談支援窓口の担い手について教えてください。

※（1）で「ア.社会参加を希望するシニア・プレシニアを対象とした総合的な相談支援窓口がある」を選択した区市町村の回答

#### 【総合的な相談支援窓口の有無（再掲）】



## 2. 社会参加を希望するシニア・プレシニアに対する総合的な相談支援窓口について

### (3) 総合的な相談支援窓口におけるコーディネーターの体制

- 総合的な相談支援窓口を設置している区市町村における「コーディネーターの体制」としては「専門のコーディネーターが常時1人以上対応できる体制」と「特定の曜日に配置する体制」が33.3%（3件）で最も割合が大きく、「区市町村職員等が業務の合間に対応している」が22.2%（2件）であった。

#### 2. 社会参加を希望するシニア・プレシニアに対する総合的な相談支援窓口について

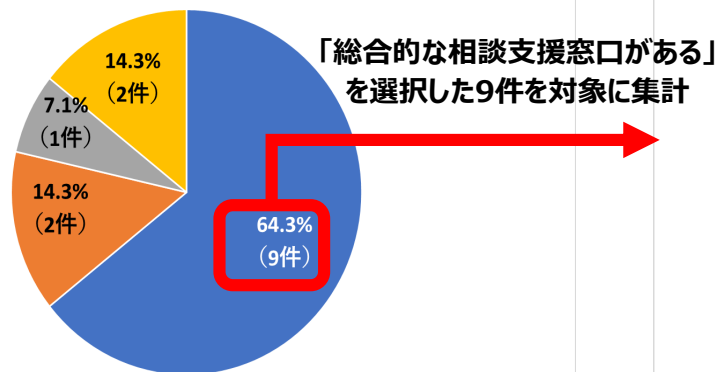
##### (3) 総合的な相談支援窓口におけるコーディネーターの体制

貴区市町村におけるコーディネーターの体制について教えてください。

※（1）で「ア.社会参加を希望するシニア・プレシニアを対象とした総合的な相談支援窓口がある」を選択した区市町村の回答

#### 【総合的な相談支援窓口の有無（再掲）】

総合的な相談支援窓口の有無（n=14）

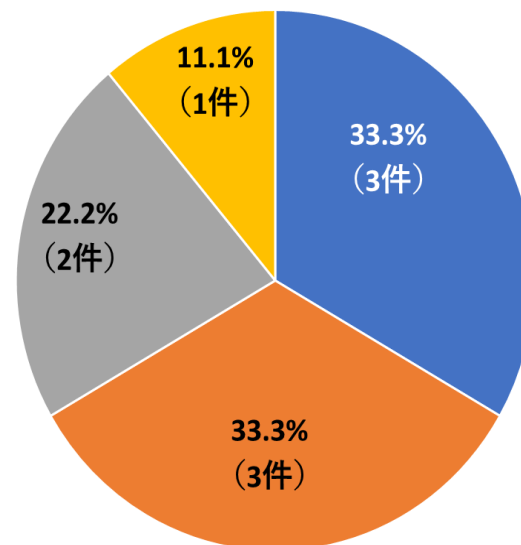


- 社会参加を希望するシニア・プレシニアを対象とした総合的な相談支援窓口がある
- 総合的な相談支援窓口の必要性は感じているが、現状設置できていない
- 総合的な相談支援窓口の必要性は感じていない
- その他

#### 「その他」の内容（自由記述回答から抜粋）

- 専門のコーディネーター（3名）が必要な時に対応する体制をとっている。

総合的な相談支援窓口におけるコーディネーターの体制（n=9）



- 専門のコーディネーターが常時1人以上対応できる体制をとっている
- 特定の曜日に専門のコーディネーターを配置する体制をとっている
- 専門のコーディネーターはいないが、区市町村職員等が業務の合間に対応している
- その他

### 3. シニア・プレシニア向けの社会参加活動の掘り起こしについて

#### (1) 社会参加活動情報の把握状況

- ・ マッチング事業を実施している区市町村のうち、「団体や関係機関と連携し、活動情報を幅広く収集している」割合は64.3%（9件）であった。
- ・ 「連携の必要性は感じているが、現状行えていない」区市町村も35.7%（5件）存在。

#### 3. シニア・プレシニア向けの社会参加活動の掘り起こしについて

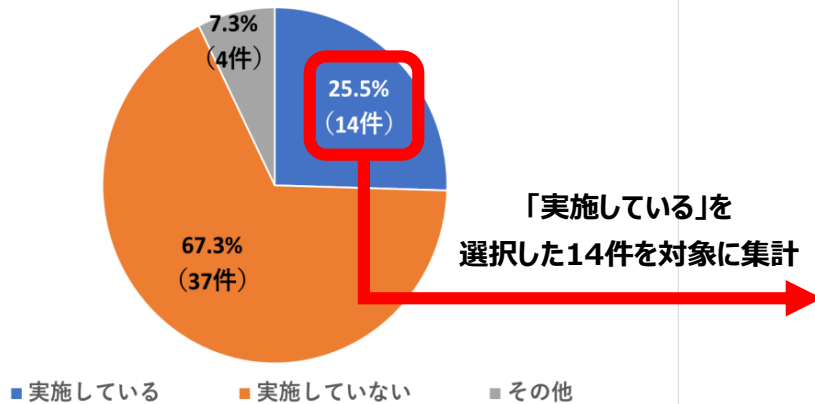
##### (1) 社会参加活動情報の把握について

社会参加活動情報の把握について、貴区市町村の実施状況を教えてください。。

※ 1で「ア.シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング事業を実施している」を選択した区市町村の回答

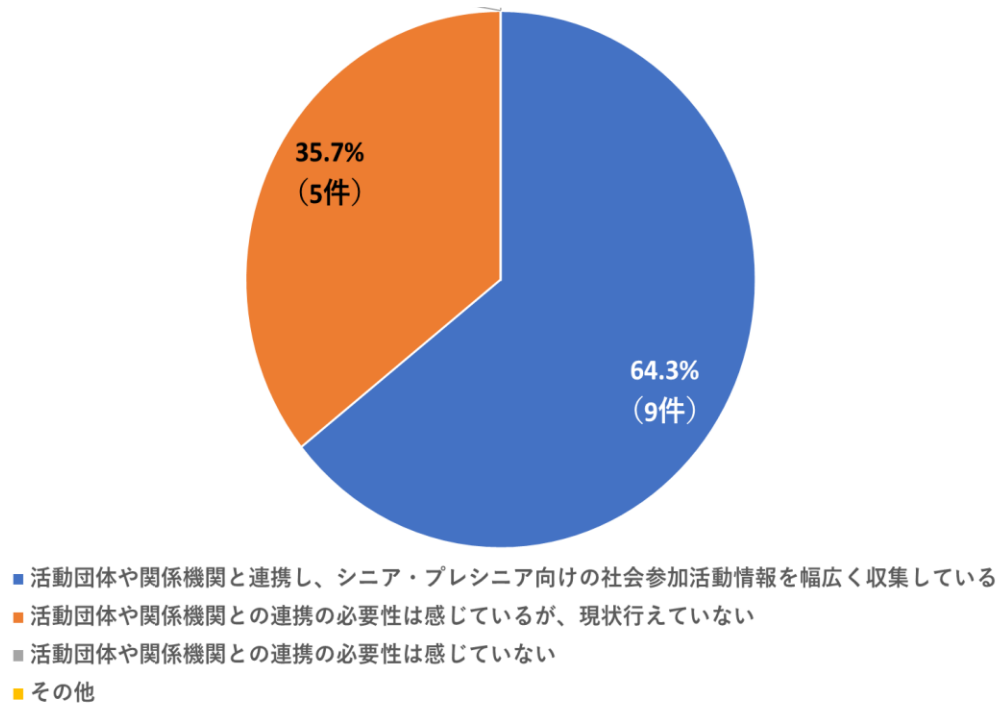
#### 【マッチング事業の取組状況（再掲）】

シニア・プレシニアと社会参加活動の  
マッチング事業の取組状況 (n=55)



「実施している」を  
選択した14件を対象に集計

社会参加活動情報の把握状況 (n=14)



### 3. シニア・プレシニア向けの社会参加活動の掘り起こしについて

#### (2) 連携している関係機関について

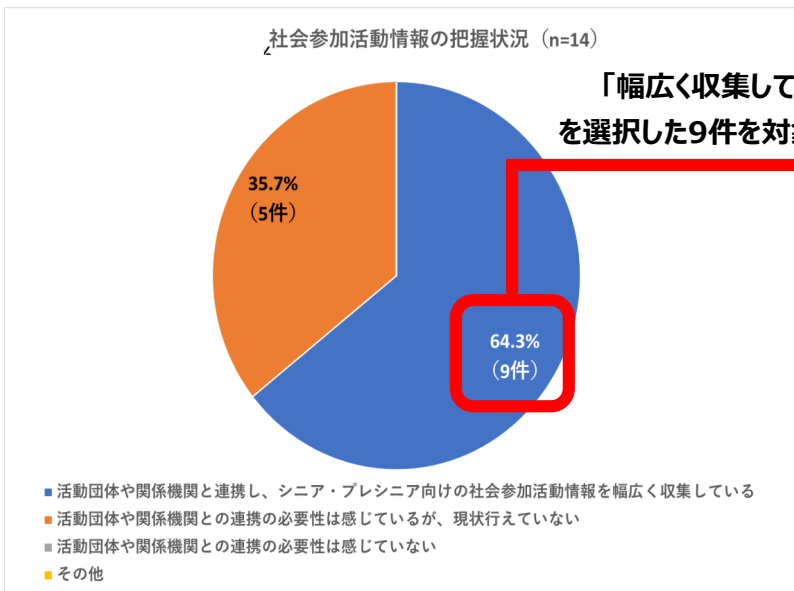
- 社会参加活動情報を「幅広く収集している」区市町村が連携している関係機関としては、「社会福祉協議会」が77.8%（7件）で最も割合が大きかった。

#### 3. シニア・プレシニア向けの社会参加活動の掘り起こしについて (2) 連携している関係機関について

連携している関係機関を選択してください。【複数回答可】

※（1）の設問で「ア.社会参加活動団体や関係機関と連携し、シニア・プレシニア向けの社会参加活動の情報を幅広く収集している」を選択した区市町村の回答

#### 【社会参加活動情報の把握状況（再掲）】



#### 【連携している関係機関（複数回答可）】

	n	%
社会福祉協議会（ボランティアセンター）	7	77.8%
その他のボランティア関連団体	6	66.7%
シルバー人材センター	5	55.6%
その他の就労関連団体	3	33.3%
町内会・自治会	3	33.3%
老人クラブ連合会	3	33.3%
老人福祉センター、老人憩いの家	3	33.3%
民間企業	4	44.4%
その他	0	0.0%
合計	9	



### 3. シニア・プレシニア向けの社会参加活動の掘り起こしについて

#### (3) 社会参加活動の情報収集の方法

- 社会参加活動情報を「幅広く収集している」区市町村の情報収集方法としては、「一定の頻度で、関係機関や社会参加活動団体に新規の活動がないか確認を行う」が66.7%（6件）で最も割合が大きかった。

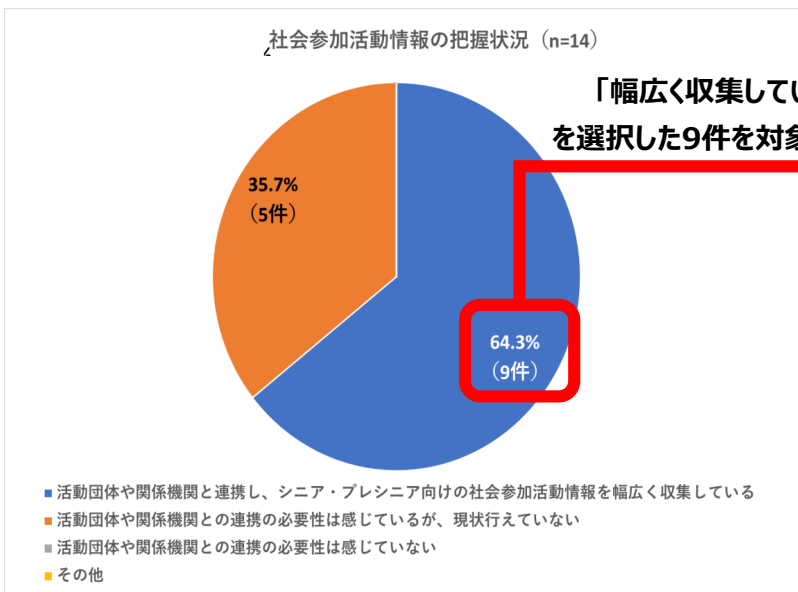
#### 3. シニア・プレシニア向けの社会参加活動の掘り起こしについて

##### (2) 連携している関係機関について

貴区市町村で行っている社会参加活動の情報収集の方法について教えてください。【複数回答可】

※ (1) の設問で「ア.社会参加活動団体や関係機関と連携し、シニア・プレシニア向けの社会参加活動の情報を幅広く収集している」を選択した区市町村の回答

#### 【社会参加活動情報の把握状況（再掲）】



#### 【社会参加活動の情報収集の方法（複数回答可）】

	n	%
新規の活動が発生した場合、関係機関や社会参加活動団体から情報が送られてくる。	2	22.2%
一定の頻度で、関係機関や社会参加活動団体に新規の活動がないか確認を行う。	6	66.7%
社会参加活動団体側のニーズを確認しながら、新規の活動を開拓している。	3	33.3%
その他	1	11.1%
合計	9	

#### 【「その他」の内容（自由記述回答から抜粋）】

- 高齢者地域活動情報サイトを開設し、区内の関係機関から寄せられる情報の収集・管理を、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターを中心に行っている。

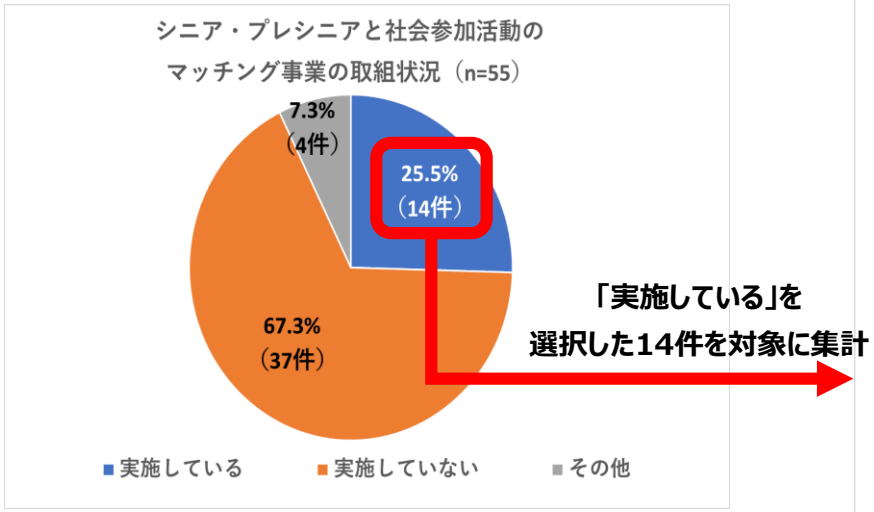
# 4. Webサイトを活用したマッチング事業について

## (1) 社会参加活動を掲載したWebサイトの有無

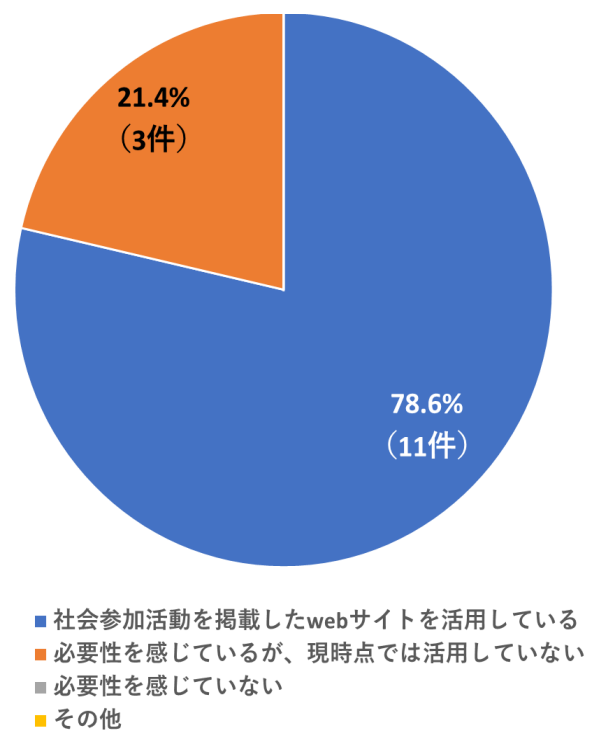
- マッチング事業を実施している区市町村のうち、「社会参加活動を掲載したWebサイトがある」割合は78.6%（11件）であった。「必要性は感じているが、現時点では活用できていない」区市町村も21.4%（3件）存在。

4. Webサイトを活用したマッチング事業について  
 (1) 社会参加活動を掲載したWebサイトの有無について  
 貴区市町村でマッチング事業を行うにあたって、シニア・プレシニア向けの社会参加活動を掲載したWebサイトを活用しているか教えてください。  
 ※ 1で「ア.シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング事業を実施している」を選択した区市町村の回答

### 【マッチング事業の取組状況（再掲）】



### 社会参加活動を掲載したWebサイトの有無 (n=14)



## 4. Webサイトを活用したマッチング事業について

### (2) Webサイトの機能

- 社会参加活動を掲載したWebサイトを活用している区市町村のWebサイトの機能としては、「社会参加活動の案件掲載」に次いで「案件検索」が72.7%（8件）で大きい。

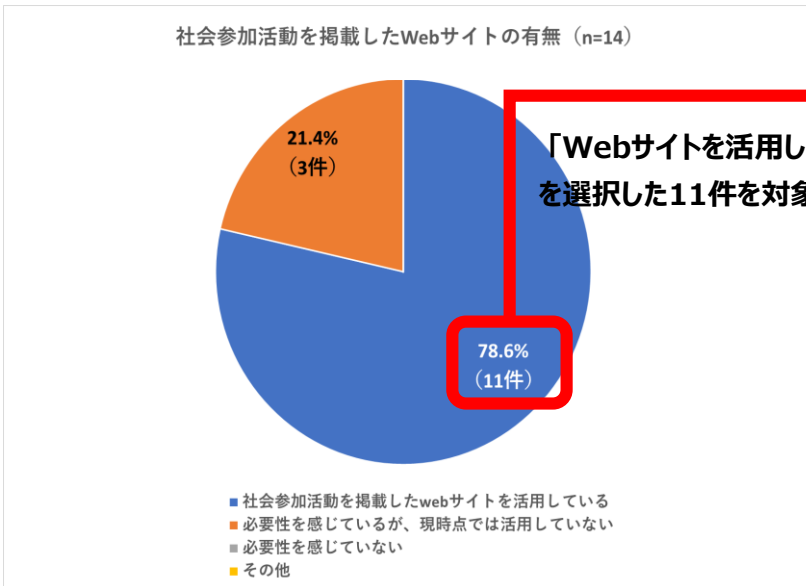
#### 4. Webサイトを活用したマッチング事業について

##### (2) Webサイトの機能

Webサイトの機能を教えてください。【複数回答可】

※（1）で「ア.社会参加活動を掲載したWebサイトを活用している」を選択した区市町村の回答

#### 【社会参加活動を掲載したWebサイトの有無（再掲）】



#### 【Webサイトの機能（複数回答可）】

	n	%
社会参加活動の案件掲載	11	100.0%
案件検索（条件、キーワード等による）	8	72.7%
希望する案件への申込	6	54.5%
利用者登録	6	54.5%
お問い合わせフォーム	6	54.5%
活動の評価	3	27.3%
その他	1	9.1%
合計	11	

#### 【「その他」の内容（自由記述回答から抜粋）】

- サイトは現在、社会福祉法人限定で運用活用しているが、ボランティアを募集する団体登録は外部企業や団体も登録可能なシステムとなっており、今後は徐々に他社展開を進めていく方向となっている。現在使いやすさを追求しシステム改修中。

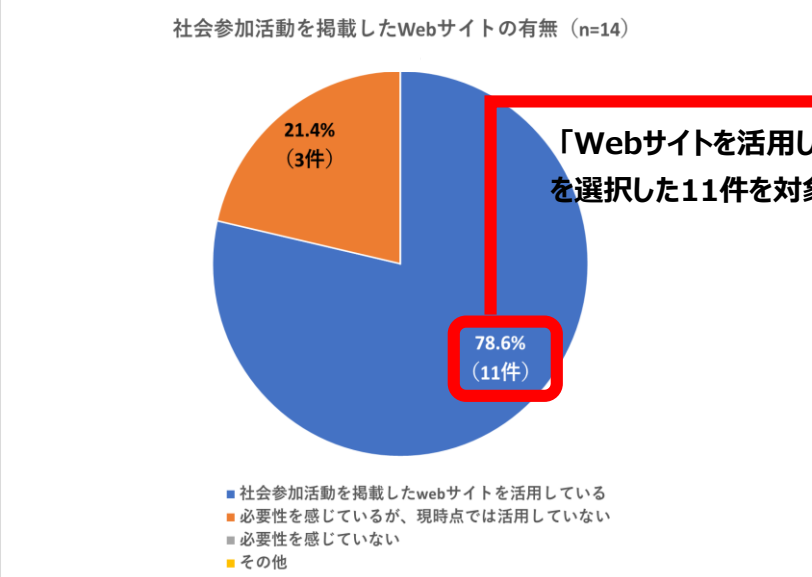
## 4. Webサイトを活用したマッチング事業について

### (3) Webサイトにおける社会参加活動の掲載方法

- 活動情報の掲載方法は区市町村ごとに異なるが、「団体や関係機関がweb上で直接登録する方法」が36.4% (4件) で最も割合が大きかった。

4. Webサイトを活用したマッチング事業について  
 (3) Webサイトにおける社会参加活動の掲載方法  
 Webサイトに掲載する社会参加活動の情報をどのように集めているか教えてください。【複数回答可】  
 ※ (1) で「ア.社会参加活動を掲載したWebサイトを活用している」を選択した区市町村の回答

【社会参加活動を掲載したWebサイトの有無 (再掲)】



【Webサイトにおける社会参加活動の掲載方法 (複数回答可)】

	n	%
社会参加活動団体や関係機関がweb上に新規の活動を直接登録し、webサイトの運営者 (区市町村・委託事業者・補助事業者等) が承認する仕組みを構築している。	4	36.4%
新規の活動が発生した際に、社会参加活動団体や関係機関が運営者にメール等で連絡し、運営者がwebサイトに掲載する。	3	27.3%
運営者が一定の頻度で社会参加活動団体や関係機関に確認を行い、新規の活動があった場合はwebサイトに掲載する。	3	27.3%
その他	1	9.1%
合計	11	

【「その他」の内容 (自由記述回答から抜粋)】

- 区内の関係機関 (行政、社会福祉協議会、高齢者相談センター、ふれあい相談員、いきいきプラザなど) から寄せられる情報の収集・管理を、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターを中心に行っている。

## 5. シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング事業全般について

### (1) マッチング事業を行うにあたって必要な支援

- マッチング事業を行うにあたって必要な支援としては、「相談支援や社会参加活動の掘り起こしを行うコーディネーターの確保に対する財政支援」が76.4%（42件）で最も割合が大きく、次いで「コーディネーターの育成に対する研修等の支援」が70.9%（39件）であった。

#### 5. シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング事業全般について

##### (1) マッチング事業を行うにあたって必要な支援

貴区市町村がシニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング事業を行うにあたって、どのような支援が必要と考えますか。【複数回答可】

#### 【マッチング事業を行うにあたって必要な支援（複数回答可）】

		n	%
財政 支援	相談支援や社会参加活動の掘り起こしを行うコーディネーターの確保に対する財政支援	42	76.4%
	Webサイトの構築や保守に関する財政支援	24	43.6%
	相談支援窓口、社会参加活動の情報収集、webサイト等の広報に対する財政支援	26	47.3%
技術的 支援	相談支援や社会参加活動の掘り起こしを行うコーディネーターの育成に対する研修等の支援	39	70.9%
	Webサイトの構築や保守に関する技術的支援	17	30.9%
	相談支援窓口、社会参加活動の情報収集、webサイト等の広報に対する技術的支援	24	43.6%
その他		6	10.9%
合計		55	

## 5. シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング事業全般について

### (2) 都のWebサイト（オンラインプラットフォーム）構築にあたってのご要望等

- 都のWebサイト（オンラインプラットフォーム）構築に関して、以下のような要望があげられた。

#### 主な自由記述回答（抜粋）

##### ● 活動団体等との調整

- あらゆる分野の活動団体を拾い上げ、掲載了承を得るのは難しいのではないかと考える。また、掲載することによる団体側のメリットに具体性が必要だと考える。
- オンラインプラットフォームの内容が決まってきた時点で、掲載できる内容及び範囲については、法人側との調整が必要になると思われる。
- Webサイトを掲載する団体へ、都からの使用目的や概要についての案内文が必要と感じる。

##### ● 情報の連携が効率的に行われる仕組み

- 既存のWebサイトについてリンクを貼るなどの連携を希望する。
- サイト連携の手間がない形で集約いただきたい。情報連携する際に、こちらで入力や更新の手間が多いと活用が難しい。
- 市域外の情報を把握できることは今後のマッチングの選択肢の幅が広がると感じる。収集している情報の種類や項目は区市町村によって異なると思うので、基本情報をベースとしながら掲載項目を任意で追加できる形にする等、工夫いただけると良いと思う。

##### ● 市の事業との棲み分け

- 市としてはマッチング事業よりも、興味がない層への働きかけが重要と考えており、マッチングの部分を都の事業として広域的にやっていただければ棲み分けができて効率的だと考える。

##### ● 類似事業のwebサイトとの関係

- 類似のサイトが増えると分かりにくいので、東京ホームタウンプロジェクトのホームページの内容と重ならないようにしてほしい。

## 5. シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング事業全般について

### (3) 自由意見 (1/2)

- シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング全般に関して、以下のような意見・要望があげられた。

#### 主な自由記述回答 (抜粋)

##### ● 既存の類似事業や仕組みとの棲み分けの整理

- 生活支援体制整備事業等、類似の事業が存在しているので、各事業のすみ分け等をお願いしたい。
- 相談窓口の作り過ぎではないか。シニアには地域包括支援センターがあり、プレシニア（シニア）はボランティアセンターや公民館で生涯学習の所管がある。規模が小さい自治体では、どこかの窓口相談すれば、所管窓口に案内される。

##### ● 企業（受け入れ側）へのアプローチ

- 無料職業紹介事業を行う中で、高齢者雇用を積極的に行う企業の少なさに苦慮しており、受け入れ側へのアプローチが最大の課題ではないかと感じている。

##### ● 多世代が活用できる仕組みの整備

- 問い合わせがあれば、シニア・プレシニアに限定せず生涯学習関連の講座や各種団体の案内等を行っているため、マッチングする事業の参加可能な対象年齢がわかり、年齢を制限せず多世代が活用できるフォーマットにすると、より広範囲で利便性の高い制度になると考える。

##### ● 男性の社会参加の促進

- シニア・プレシニアの男性の社会参加が大きなテーマだと考えている。地域や社会とのつながりは煩わしいと感じる人も多いかもしれないが、より良い社会の実現のためにも、充実した個人の人生のためにも社会参加することが有用であることをどのように伝えるべきか。当たり前社会参加できるような機運を作るような働きかけを国や都にはお願いしたい。



## 5. シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング事業全般について

### (3) 自由意見 (2/2)

- シニア・プレシニアと社会参加活動とのマッチング全般に関して、以下のような意見・要望があげられた。

#### 主な自由記述回答 (抜粋)

##### ● 目的やアウトカムを意識した仕組みの設計

- マッチングできた件数を成果指標にしてしまうと本末転倒になりかねないので、マッチングを事業化することの目的やアウトカムを見定めて設計していただければありがたい。

##### ● 都民志向の事業の必要性

- 会議体からの総論としての提言・提案に基づき、各論として基礎自治体を実施を求める事業については、市民志向からずれているものが見受けられる。まず、プロトタイプとして、大中小規模自治体に在住する、幅広い年齢層・家族形態の市民を利用者として見立て、実施・検証を行い、市民ニーズに合致していて効果が出ることを確認してから区市町村におろしていただきたい。

##### ● 都民が本音で求めるインセンティブ設計

- 今後、定年延長後の再任用などがあれば、更に、リタイアする時点での高年齢化が進むのではないかと思われ、このような状況にある中で、シニア・プレシニアの地域活動への参加を促進するためには、本音で参加したいと思うインセンティブ設計が非常に重要と思われる。善意に頼るインセンティブでは、現状を変えることは難しく思う。

##### ● 地域の資源や人材を考慮した検討の必要性

- 離島であることから、資源も人材も限られており、本事業を実施したときに有効に機能しない可能性があると考えられる。事業として実施する必要性は低いように感じる。



# 区市町村向けアンケート調査結果 まとめ

## <マッチング事業全般>

- シニア・プレシニアと社会参加活動のマッチング事業を実施している区市町村が全体の1/4程度にとどまっていることや、実施している区市町村においても地域外の情報を把握できることは有効であるという意見があることを踏まえると、社会参加活動の更なる促進に向けて、都が広域的なマッチングの仕組みを整備する等区市町村を支援することが効果的・効率的だと考えられる。
- 区市町村から都民ニーズや地域の資源や人的制約等を考慮した検討の必要性が指摘されており、引き続き都民や区市町村の声を丁寧に確認しながら検討を進めることが必要と考えられる。

## <相談支援>

- 生活支援体制整備事業等の一環として、マッチング支援や総合的な相談支援窓口を提供している区市町村も存在しており、既存の類似事業との棲み分けや連携のあり方の検討も必要と考えられる。
- マッチング事業を行うにあたって必要な支援としては、コーディネーターの確保・育成に対する支援を求める割合が8割程度あることから、都として適切な支援を行っていく必要がある。

## <社会参加活動の掘り起こし>

- 団体や関係機関と連携して、社会参加活動情報を幅広く収集できている区市町村が存在する一方、連携の必要性を感じつつ、連携が進んでいない区市町村も存在している。

## <オンラインプラットフォーム>

- 都のWebサイト（オンラインプラットフォーム）構築に向けては、団体や関係機関との調整の必要性も指摘されており、区市町村、団体、関係機関、都の役割分担や仕組みの整理が必要と考えられる。
- 既存のwebサイトとの情報連携にあたっては、自動で情報を転送する等、効率的な実施が求められている。